

## ◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(20歳代女性)あり(第40週追加報告分)、症状は腹痛・水様性下痢・血便・発熱です。感染地域は国内、感染経路は経口感染です。本年の累積報告数は22例となっています。

発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。

○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>

- E型肝炎の報告が1例(80歳代男性)があり、症状は肝機能異常です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年初めての報告となっています。
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代女性)(第40週追加報告分)あります。症状は発熱・肺炎です。感染地域は国内で、感染経路は不明です。本年の累積報告数は13例となっています。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は尿路感染症です。本年の累積報告数は26例となっています。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告が1例(80歳代男性)(第40週追加報告分)あり、症状はショック・腎不全・軟部組織炎です。感染地域は国内で、感染経路は創傷感染です。本年の累積報告数は7例となっています。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は発熱・菌血症で、感染地域は国内、感染経路は不明です。本年の累積報告数は52例となっています。
- 梅毒の報告が1例(60歳代男性)あり、症状は硬性下疳です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は57例となりました。

京都市では、平日昼間、土日及び夜間にHIV・性感染症(梅毒・淋菌・クラミジア)検査を実施しています。詳細については、下記のホームページを御覧ください。

○京都市情報館「京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変更しました。)」  
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

## ◆ 今週のトピックス: <E型肝炎>

京都市でE型肝炎の報告が1例ありました。本年初めての報告で、推定感染地域は国内、感染経路は不明です。詳細をトピックスに掲載しています。

## ◆ 発生状況

### 全数把握の感染症

- 二類:結核 14例(肺結核 6例, 其他結核 2例, 潜在性結核感染者 6例)うち喀痰塗抹陽性 2例  
【1月以降の累積報告数 272例(肺結核 139例, 其他結核 45例, 潜在性結核感染者 88例)うち喀痰塗抹陽性 67例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 22例】
- 四類:E型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例【1月以降の累積報告数 13例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 26例】
- 五類:劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 52例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 57例】

### 定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ69, 小児科43, 眼科10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.32	22
小児科	① 感染性胃腸炎	3.67	158
(降順5位まで)	② RSウイルス感染症	1.42	61
	③ 手足口病	1.16	50
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	38
	⑤ ヘルパンギーナ	0.74	32
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

## 【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <E型肝炎>

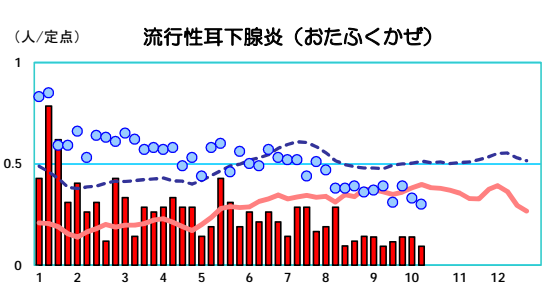
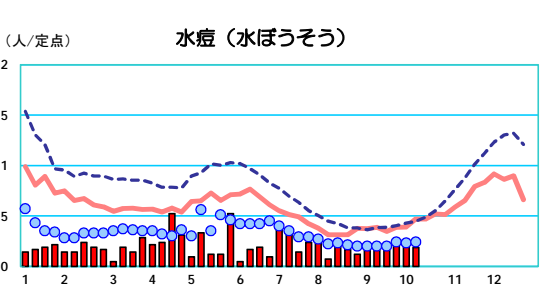
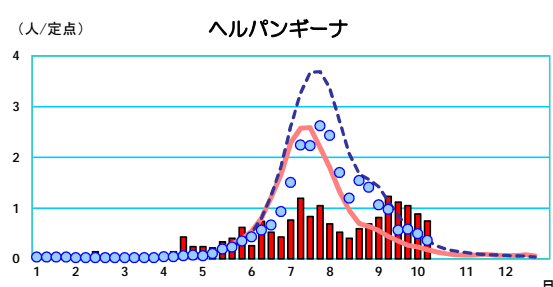
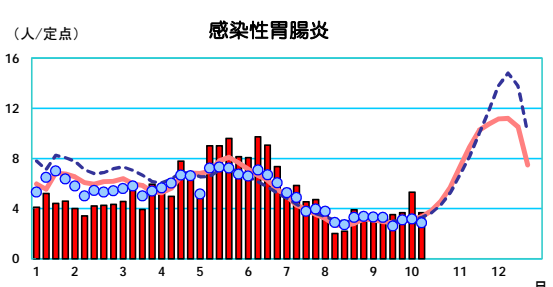
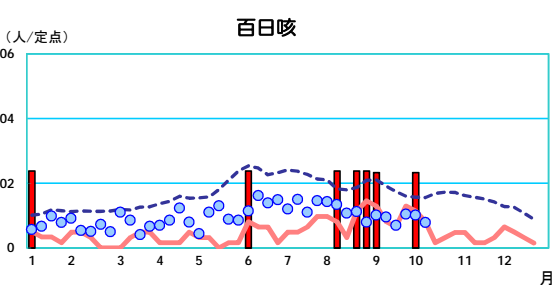
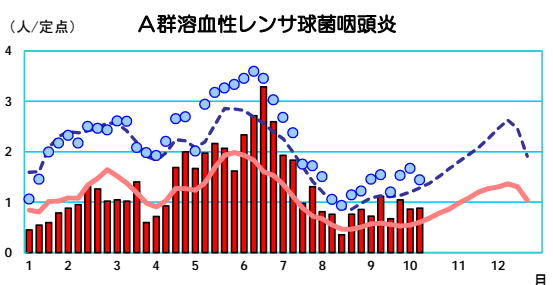
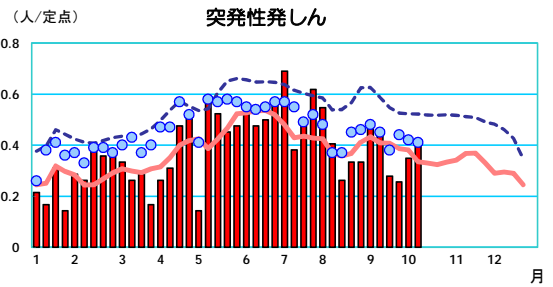
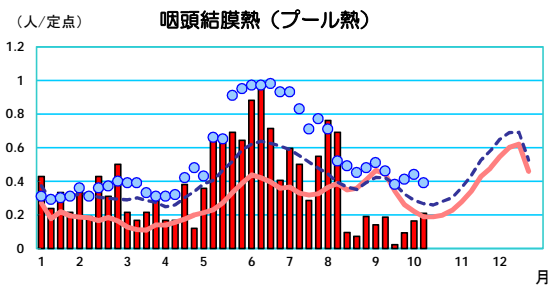
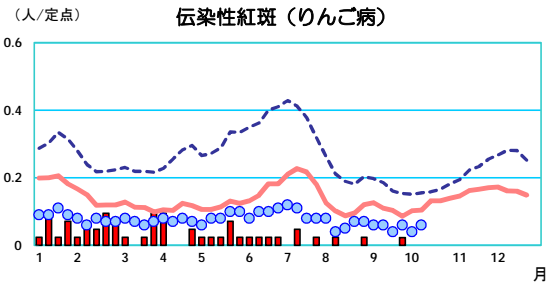
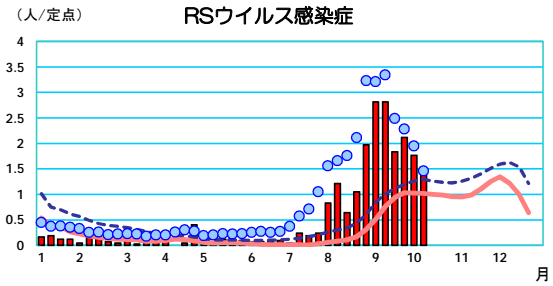
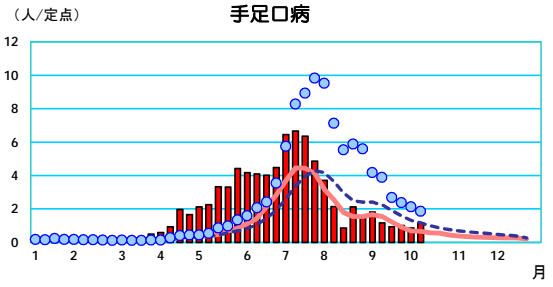
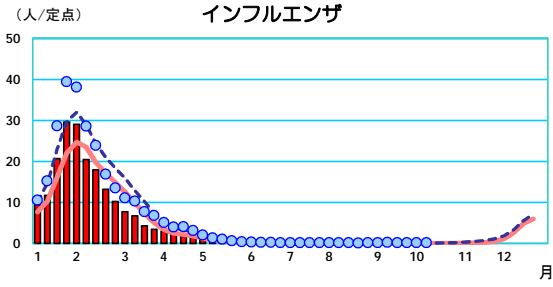
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年10月18日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

\* 感染経路及び感染地域については推定を含みます。

# インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



## 第41週(10月2日～10月8日)トピックス: <E型肝炎>

京都市でE型肝炎の報告が1例ありました。本年初めての報告で、推定感染地域は国内、感染経路は不明です。E型肝炎は、平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく全数把握の四類感染症として届出が義務づけられました(※)。京都市内の報告は、平成11年4月から平成29年第41週までで7例あります(表1)。

本年第41週までの全国の報告数は253例で、昨年同時期までと比較するとやや少ないものの、一昨年の年間報告数を既に超えており、長期的には依然増加傾向にあると言えます(図1)。

本年の全国の報告数を年齢別でみると、報告は全て20歳以上、割合としては50歳未満、50歳代、60歳代、70歳以上がそれぞれ1/4程度ずつで、比較的高い年齢層での報告が多くなっています(図2)。都道府県別の報告数では、北海道と東京都及びその周辺が多く、性別では男性約70%に対して女性約30%と、男性の報告が多く見られます(図3)。

本疾患はE型肝炎ウイルスの感染によって引き起こされる急性肝炎(まれに慢性肝炎)です。感染経路は途上国等では感染者の糞便中に排泄されたウイルスによる経口感染が主となっていますが、国内では豚やイノシシ、シカ等の肉や内臓の生食あるいは加熱不十分な状態での喫食によるものが約半数で、動物由来感染症として注目されています。平成24年7月に腸管出血性大腸菌 O157等による重い食中毒の発生を防ぐため、牛レバーの生食用の販売及び提供が禁止されました。それ以降、豚レバーを生食用として提供する飲食店等があらわれました。豚レバーの生食は、E型肝炎以外にも、サルモネラ属菌やカンピロバクター等の食中毒のリスクがあることから、平成27年6月には豚の生肉と内臓も生食用として販売及び提供が禁止されました。過去の発生動向を見ると、こうした規制後に報告数が増加しています(図1)。レバーなどの内臓やシカ・イノシシ等の肉を食べる際には、中心部まで火が通るよう十分加熱することが重要です。詳細については、以下のホームページを御覧ください。

○E型肝炎とは(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/319-hepatitis-e-intro.html>

○E型肝炎ウイルスの感染事例・E型肝炎Q&A(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/08/h0819-2a.html>

表1 京都市内における感染例(平成11年4月～平成29年第41週まで)

診断年	平成12年	平成18年	平成18年	平成20年	平成26年	平成28年	平成29年
年代	20歳代	40歳代	70歳代	60歳代	30歳代	40歳代	80歳代
性別	男性	男性	男性	女性	女性	男性	男性
推定感染地域	海外(インド)	海外(中国)	国内	海外(中国)	海外(フランス)	国内	国内
推定感染経路	経口感染	不明	不明	経口感染	経口感染	経口感染	不明

図1 全国のE型肝炎報告数推移(平成11年4月～平成29年第41週まで)

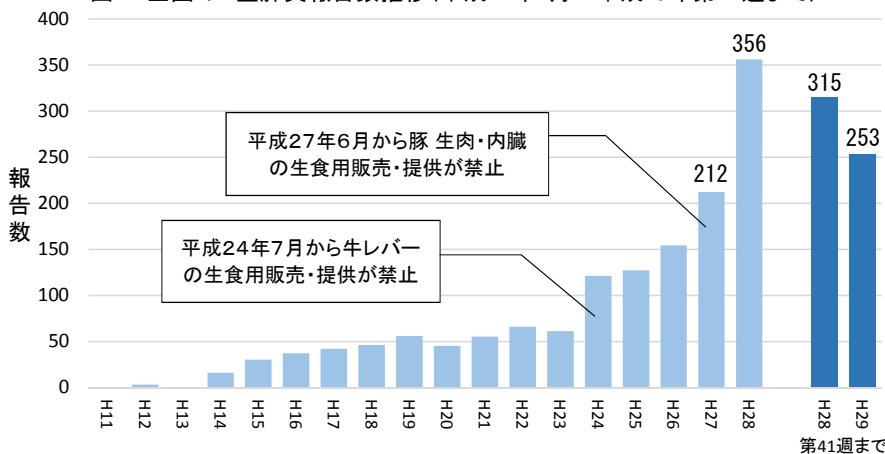


図2 全国の年齢階級別割合 平成29年(第41週まで)

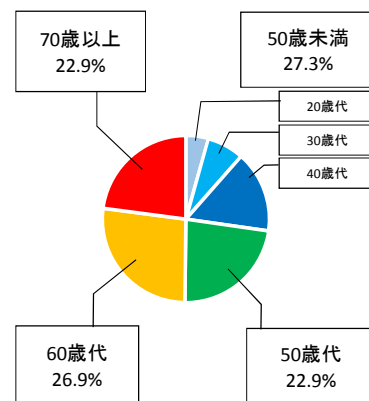
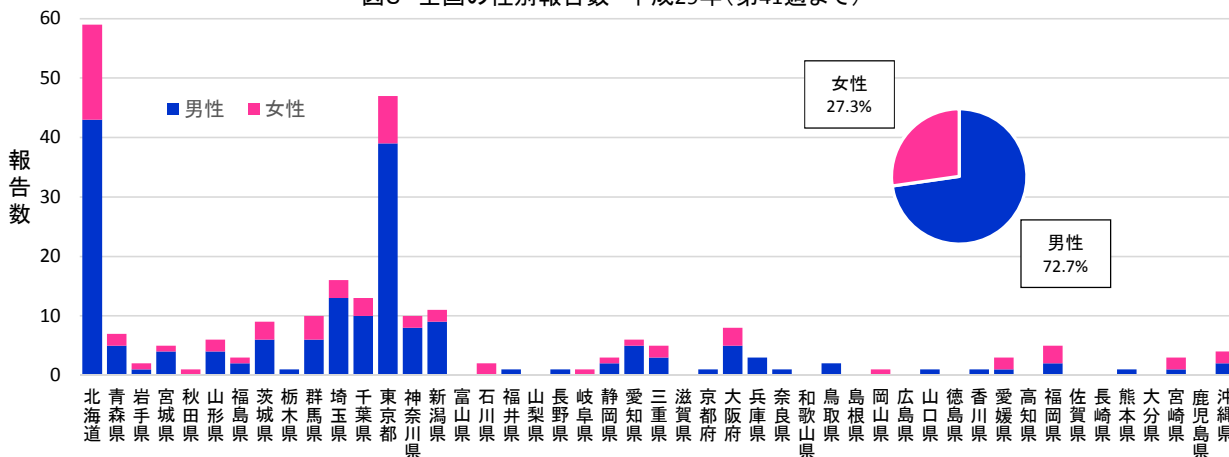


図3 全国の性別報告数 平成29年(第41週まで)



T3201

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第41週

疾病,行政区別報告数

平成29年10月9日～平成29年10月15日

データ入手日:平成29年10月18日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	2	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	1	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	3	9	1	7	70	-	3	-	1	-	-	1	-	-						
中京	1	4	1	2	5	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	2	6	-	-	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
山科	7	11	3	2	2	-	2	-	4	-	14	-	-	2						
下京	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	-							
南	2	-	-	-	7	-	-	-	1	-	8	1	-							
右京	5	6	2	13	8	5	19	-	1	-	5	2	-	-						
伏見	1	16	-	7	33	3	11	-	8	-	2	-	-	-						
西京	-	6	-	4	15	-	8	-	1	-	-	-	-	-						
京都市計	22	61	9	38	158	8	50	-	17	-	32	4	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定数当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭A群 溶血性レンサ球菌咽 頭炎	感染性胃腸炎	水 痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	-	0.50	0.50	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
上京	0.20	0.33	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	0.43	2.25	0.25	1.75	17.50	-	0.75	-	0.25	-	-	0.25	-	-						
中京	0.20	1.33	0.33	0.67	1.67	-	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.67	3.00	-	-	6.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-						
山科	1.00	2.20	0.60	0.40	0.40	-	0.40	-	0.80	-	2.80	-	-	2.00						
下京	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	1.50	-	-							
南	0.40	-	-	-	2.33	-	-	-	0.33	-	2.67	0.33	-							
右京	0.63	1.20	0.40	2.60	1.60	1.00	3.80	-	0.20	-	1.00	0.40	-	-						
伏見	0.09	2.29	-	1.00	4.71	0.43	1.57	-	1.14	-	0.29	-	-	-						
西京	-	1.20	-	0.80	3.00	-	1.60	-	0.20	-	-	-	-	-						
京都市計	0.32	1.42	0.21	0.88	3.67	0.19	1.16	-	0.40	-	0.74	0.09	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

### 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第41週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年10月9日～平成29年10月15日

データ入手日:平成29年10月18日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	22	-	-	-	1	-	1	3	3	-	2	2	1	4	-	1	1	-	-	-	3	
RSウイルス感染症	年齢3	61	9	10	18	15	5	2	-	-	1	-	-	-	-	-	1						
咽頭結膜熱		9	-	1	1	1	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		38	-	-	-	-	5	4	3	4	6	4	2	9	-	1							
感染性胃腸炎		158	2	21	21	15	16	11	10	6	8	4	4	15	6	19							
水痘		8	-	1	1	-	1	1	1	1	2	-	-	1	-	-	-						
手足口病		50	1	3	14	15	10	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん		17	-	6	6	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ		32	-	2	11	4	3	1	3	1	1	1	1	1	3	1							
流行性耳下腺炎		4	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	-	-						
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.32	-	-	-	0.01	-	0.01	0.04	0.04	-	0.03	0.03	0.01	0.06	-	0.01	0.01	-	-	-	0.04	
RSウイルス感染症	年齢3	1.42	0.21	0.23	0.42	0.35	0.12	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02							
咽頭結膜熱		0.21	-	0.02	0.02	0.02	0.02	0.09	-	0.02	-	-	-	-	-	-							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.88	-	-	-	-	0.12	0.09	0.07	0.09	0.14	0.09	0.05	0.21	-	0.02							
感染性胃腸炎		3.67	0.05	0.49	0.49	0.35	0.37	0.26	0.23	0.14	0.19	0.09	0.09	0.35	0.14	0.44							
水痘		0.19	-	0.02	0.02	-	0.02	0.02	0.02	0.05	-	-	0.02	-	-	-							
手足口病		1.16	0.02	0.07	0.33	0.35	0.23	0.12	-	0.05	-	-	-	-	-	-							
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
突発性発しん		0.40	-	0.14	0.14	0.09	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
ヘルパンギーナ		0.74	-	0.05	0.26	0.09	0.07	0.02	0.07	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.07	0.02							
流行性耳下腺炎		0.09	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-							
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		年齢2	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	0.10	
細菌性髄膜炎(※2)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

## 京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第41週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年10月18日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		2	2	1	7	8	22
RSウイルス感染症		121	121	79	91	76	61
咽頭結膜熱		6	8	1	4	7	9
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		31	48	29	45	37	38
感染性胃腸炎		149	146	151	158	228	158
水痘		9	7	7	9	9	8
手足口病		78	50	40	43	37	50
伝染性紅斑		-	-	-	1	-	-
突発性発しん		20	19	12	11	15	17
百日咳		1	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ		35	53	48	45	38	32
流行性耳下腺炎		6	4	5	6	6	4
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		10	8	6	5	4	2
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		468	466	379	425	466	401

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		0.03	0.03	0.01	0.10	0.12	0.32
RSウイルス感染症		2.81	2.81	1.84	2.12	1.77	1.42
咽頭結膜熱		0.14	0.19	0.02	0.09	0.16	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.72	1.12	0.67	1.05	0.86	0.88
感染性胃腸炎		3.47	3.40	3.51	3.67	5.30	3.67
水痘		0.21	0.16	0.16	0.21	0.21	0.19
手足口病		1.81	1.16	0.93	1.00	0.86	1.16
伝染性紅斑		-	-	-	0.02	-	-
突発性発しん		0.47	0.44	0.28	0.26	0.35	0.40
百日咳		0.02	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ		0.81	1.23	1.12	1.05	0.88	0.74
流行性耳下腺炎		0.14	0.09	0.12	0.14	0.14	0.09
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1.00	0.80	0.60	0.50	0.40	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-
合計		11.63	11.43	9.27	10.21	11.07	9.29

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。